# brother

# **MPRINT** MW-270 モバイルプリンター

### 基本操作説明書



● ご使用になる前に必ず本書をお読みください。
 ● 本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見ることができるようにしてください。

### はじめに

このたびは、モバイルプリンター MPrint MW-270(以下「本機」) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機はパソコンまたはモバイル端末と接続し、簡単な操作で印 刷できる、軽量、薄型の感熱式モノクロモバイルプリンターで す。

- 本書は、お使いになるための注意事項や本機の操作方法を記載 しています。ご使用になる前に必ず本書をお読みの上、正しく お使いください。
- 本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。
- 〇本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- ○本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することは 禁じられています。
- 〇本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一不審な 点や誤りなどお気づきの点がありましたらコールセンターに ご連絡ください。お問い合わせ先は、「安全にお使いいただく ために」をご参照ください。
- 〇地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他特殊な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。
- 〇本機の使用または使用不能から生じるいかなる他の損害(消 失、事業利益の損失、逸失利益、事業の中断、通信手段の消 失など)に関して、当社は一切責任を負いませんので、ご了 承ください。
- 〇万一、当社の製造上の原因による品質不良があった場合には、商品をお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦いただきます。
- ○当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤 動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

T

はじめに

#### ホームページのご案内

弊社ホームページでは、最新の情報をお届けしています。 最新の商品情報やプリンタードライバー、取扱説明書をぜひご 覧ください。

 ・モバイルプリンター製品紹介のページ www.brother.co.jp/product/mwprinter/
 ・サービス&サポートホームページ サポートサイト www.brother.co.jp/support/

ソフトウェアのインストーラーは、弊社ホームページ (install.brother)からダウンロードできます。

開発者向け情報のページでは、各ホストに対応した SDK や開発 情報が無償でダウンロードいただけます。

・モバイルプリンター開発者専用情報
 www.brother.co.jp/product/dev/mobilesdk/

# 目次

はじめに	I
目次	1
取扱説明書の構成	2
同梱品一覧	2
各部の名前	3
使い方	5
保護フィルムを取る	5
充電池を入れる / 取り外す	5
尤単りる キテランプと大掛の出能	0 0
	9 13
Bluetoothを使う	15
Bluetooth 通信を確立する	17
	22
用紙をセットする	24
パソコンで本機を使用する	26
排紙する	27
ペーパーガイドを使う	28
お手入れをする	29
付録	32
こんなときは	32
製品仕様	35
よくあるご質問:	36

1

### 1 取扱説明書の構成

本機には、安全にお使いいただくためにと基本操作説明書とソ フトウェアユーザーズガイドが用意されています。

ソフトウェアユーザーズガイドはサポートサイトからダウン ロードしてください。

それぞれの文書には、以下のような説明が記載されています。 安全にお使いいただくために

本機をお取扱いいただく際の注意事項を説明しています。

#### 基本操作説明書

本機のセットアップのしかた、ドライバーやソフトウェアのインストールのしかたなどについて説明しています。

ソフトウェアユーザーズガイド

ソフトウェアの使用方法を説明しています。

### 2 同梱品一覧



# 3 各部の名前

右側面



左側面



背面側



#### 保護フィルムを取る

出荷時には、用紙確認窓に保護フィルムを貼っています。最初 にお使いの際には、保護フィルムをはがしてご利用ください。

#### 充電池を入れる / 取り外す

#### 充電池を入れる

- 1 本機の裏面、充電池カ リチウムイオン バーを①の方向にスライ <sup>充電池</sup> ドします。
- 2 ②の箇所に指を掛けて外 してください。
- 3 ③のコネクター部分を合わせてリチウムイオン充電池を設置します。
- **4**上記 2, 1 の順で操作を し、カバーを閉めてください。

#### 充電池を取り外す

- 1 本機の裏面、充電池カバーを①の方向にスライド します。
- 22の箇所に指を掛けて外してください。
- **3** 充電池を取り外します。
- 4 上記 2, 1 の順で操作をし、カバーを閉めてください。

充電池を取り扱う際の注意事項や不要になった充 電池の廃棄については「安全にお使いいただくため に」をご参照ください。



#### 充電する

専用の AC アダプターで充電して使用します。 ご購入後は、必ず充電表示ランプ(充電中はオレンジ色に点灯) が消灯するまで充電してからお使いください。

1 本機の AC アダプター用コ ネクターに AC アダプター のコネクターを接続しま す。

2 AC アダプターのプラグを 家庭用コンセント (AC100V) に差しこみます。 自動的にリチウムイオン充電 池の充電が開始されます。



Ō

- → 充電表示ランプがオレンジ色に点灯します。
- → 充電が完了すると、充電表示ランプが消灯 します。
- → 充電表示ランプがオレンジ色に点灯しな い場合には、充電池が正しくセットされていない可能性 があります。



#### 3 充電後は AC アダプターを必ず外します。

O SXE

●本機は、リチウムイオン充電池が挿入されていない場合、ACアダプターの電力だけでは動作しません。

●付属の USB ケーブルでパソコンに接続するか、モバイ ル端末充電時にご使用の USB-AC アダプターに接続して 充電することもできます。(5V/0.5A 以上) 充電時間は充電方法や環境によって異なります。



●AC アダプターのケーブルを AC アダプターに巻き 付けたり、折り曲げたりしないでください。断線 の原因となります。



#### 使わない時のリチウムイオン充電池の保管について



- ●保管時には、リチウムイオン充電池を本体から取り外して涼しく湿度の低い、なるべく温度の一定のところ(温度15℃~25℃、湿度40%~60%推奨)で保管してください。
- ※高温環境下ではリチウムイオン充電池の劣化が 進みます。高温(車輛内、ストーブの近く、電気 カーペットの上など)環境、直射日光の当たる環 境を避けて下さい。
- ●長期間ご利用にならない場合は、リチウムイオン 充電池を本体から取り外して、冷暗所にて保管く ださい。

保管の際には、満充電状態を避けてください。充 電表示ランプが1回点滅するまでご使用頂き、保 管していただくことをお勧めします。

- ※保管の際は、必ず本体から AC アダプターを外し てください。
- ※端子部に金属が触れないようにご注意ください。 端子間のショートにより充電池が故障する可能 性があります。
- ・ 過放電による充電池の劣化を防止するために、 3ヶ月に1回程度充電し、再度、充電表示ランプが1回点滅するまでご使用頂き、保管していただきますようお願いします。

#### 表示ランプと本機の状態

#### ■モード表示ランプ

モード表示ランプが青色や緑色のときは正常な状態、モード 表示ランプが赤色のときはエラー状態を表します。 モード表示ランプが緑色の時は USB インター フェイスが使用でき、青色のときは Bluetooth または USB インターフェイスのどちらを使用し ても通信できます。ただし、いったん通信を開 始すると、印刷が完了するまではもう一方のインターフェイス を使用して通信することはできません。

ランプの色	ランプの状態	本機の状態
青	点灯	受信待機状態 (Bluetooth または USB 使用可能)
	0.4 秒ごとに 点滅	通信中(Bluetooth 使用中)
	2 秒ごとに点滅	プリンターから iPad <sup>*</sup> に接続中
	3 秒ごとに点滅	スリープモード(省電力待機状態、 Bluetooth 通信のみ使用可能)
緑	点灯	受信待機状態(USB 使用可能)
	点滅	通信中(USB 使用中)
赤	点滅	エラー状態 (→ p. 10 参照)
	点灯	システムエラー (→ p. 10 参照)

\*は iPad、 iPhone、 iPod などの総称とする。

エラー状態(赤のランプが点滅)になったら、以下のエラー内容を 確認してください。

エラーの内容	解決方法
ペーパーカセットなし <sup>*</sup> ペーパーカセットの方向間 違い <sup>*</sup> 用紙なし <sup>*</sup>	用紙が入っているペーパーカセットを 正しくセットしてください。(→ p.22 参照)
紙詰まり	<ul> <li>詰まった用紙を取り除いてください。(→p.27 参照)</li> <li>その後、プリンターの電源を入れ直すと、エラー状態が解除されます。</li> <li>※詰まった用紙が完全に取り除かれない場合は、プリンターの電源を入れ直してもエラー状態が続きます。</li> </ul>
	<ul> <li>・用紙送りローラーを清掃し、紙粉を 取り除いて下さい(→p.31参照)</li> </ul>
通信エラー	通信状態を確認してください。(→p.15 参照) 数秒間待って、エラーから復帰した時 に、印刷を再開させるにはデータを送 りなおしてください。 Bluetooth 接続時、しばらく待っても 復旧しない場合は、再度接続しなおし てください。
高温エラー	本機内部が高温になっています。温度が 下がるまでお待ちください。 印刷途中で高温エラーになった場合、途 中まで印刷された用紙は、フィードして 排出されます。

\* プリンタードライバーの通信設定によっては、モード表示ランプが赤色 に点滅せずに、PC 画面にエラーメッセージが表示されます。

システムエラー(赤のランプが点灯)になったら・・・ 故障している可能性があります。お買い上げの販売店、また はコールセンターにご連絡ください(「安全にお使いいただく ために」参照)。

#### ■充電表示ランプ

充電表示ランプで、電源の状態が確認できま す。充電表示ランプには2つの機能があります。

①充電状態の確認(ACアダプターまたはUSBケーブル接続時)

ランプの色	ランプの状態	本機の状態
	点灯	充電中
オレンジ	消灯	充電完了
	点滅	充電池の異常

#### ②充電池残量の確認(リチウムイオン充電池で起動時)

ランプの状態	充電池残量の目安
消灯	充電池残量 30% 以上
1回点滅	充電池残量 30% 未満
2 回点滅	充電池残量 20% 未満
3回点滅が持続	要充電



- ●充電池を長持ちさせるため、できるだけ電力を使い切ってから充電してください。
- ●3回点滅が続くようになってから充電してください。
- ●充電池の特性上、満充電の状態でも、10 ℃以下の 環境で使用した場合は、印刷可能枚数が大幅に減 少します。
- ●充電池を長持ちさせるため、充電完了後は本機からACアダプターをはずしてください。また、USBケーブルでの充電完了後は、USBケーブル接続での印刷時を除き、USBケーブルははずしてください。
- ●40 ℃以上では充電池の劣化が進みます。40 ℃以上 (車内、ストーブの近く、電気カーペットの上な ど)、直射日光の当たる環境を避けてください。

#### ■充電表示ランプが点滅した場合

- 下記の原因により、充電が完了していない可能性があります。 ・充電電源供給元が定格を守っていない(付属のACアダプター
  - ・元電電源供給元が定格を守っていない(特属のACFダブダー または USB ケーブル以外を使用時)
- ①本体の電源を一旦「オン」にしてから「オフ」にして電源 を切り、点滅状態を解除してください。
- ②以下の項目に注意して、再度充電を行ってください。 ・USB ケーブルで充電する場合は、USB ハブを使わずに直接 パソコンに接続してください。
  - AC アダプターで充電する場合は、専用 AC アダプターを使用してください。

上記を試しても、充電開始から8時間以上経過後に充電表示 ランプが点滅した場合は、充電池の異常が考えられます。 充電池を交換してください。(→p.5「充電池を入れる/取り 外す」参照)



●本機はリチウムイオン充電池を使用しています。 十分に充電しても、本機の使用できる時間が短くなったときは充電池の寿命ですので、新しいリチウムイオン充電池と交換してください。

#### <u>電源を入れる / 切る</u>

1 電源スイッチを押します。

- → モード表示ランプが点灯す るまで押します。
- → 電源が入ると、モード表示
   ランプが青色 (Bluetooth モード
   が「オン」の場合)または緑色
   (Bluetooth モードが「オフ」の
   場合)に点灯します。
   (→ p.9「表示ランプと本機の状態」参照)



電源スイッチは指の腹で押してください。スイッチ をペン先など尖ったもので押すと、大きな負荷がか かり、電源スイッチが破損するおそれがあります。



●本機は、誤って電源が入ってしまうことを防ぐため、軽く触れただけでは電源が入らないようになっています。電源が入らない場合は、少し長めに電源スイッチを押してください。

●本機は、リチウムイオン充電池の消耗を防ぐため、使用中に以下の機能が働きます。

Bluetooth モードが「オン」の場合:

ー定時間操作やデータ通信が行われないと、自動的 にスリープモード(→p.9参照)に入ります。自動 的にスリープモードに入るまでの「オートスリープ 時間」は[プリンターのプロパティ]-[デバイスの設 定]にある[ユーティリティ...]で設定できます。 (→サポートサイトにあるソフトウェアユーザーズ ガイド参昭)

Bluetooth モードが「オフ」の場合:

ー定時間操作やデータ通信が行われないと、自動的 に電源が切れます。自動的に電源が切れるまでの 「オートパワーオフ時間」は [ プリンターのプロパ ティ ]-[デバイスの設定] にある [ ユーティリティ ...] で設定できます。(→サポートサイトにあるソ フトウェアユーザーズガイド参照)

#### Bluetooth を使う

#### ■ Bluetooth モードを「オン」にする

1 モード表示ランプが緑 色に点灯していること を確認します。 (Bluetooth モード「オ フ」)



2 電源スイッチを押し続 け、モード表示ランプ が一旦消灯した後に青色に点滅を始めたら、電源 スイッチを離します。 → モード表示ランプが青色に点灯します。(Bluetooth モー ド「オン!)

#### ■ Bluetooth モードを「オフ」にする

- 1 モード表示ランプが青色に点灯していることを 確認します。(Bluetooth モード「オン」)
- 2 電源スイッチを押し続け、モード表示ランプが一 旦消灯した後に青色に点滅を始めたら、電源ス イッチを離します。
  - → モード表示ランプが緑色に点灯します。(Bluetooth モー ド「オフ」)



USB 通信を使って印刷を実行する場合は、省電力の ため、Bluetooth モードをオフにすることをおすす めします。



●Bluetooth 機器の発する電波は、周囲の電子機器 の動作に影響を与える恐れがあります。下記の場 所では Bluetooth モードをオフにしてください。

- ・病院内
- 航空機内
- ・ガソリンスタンドなど引火物付近
- · 火災報知機
- ●Bluetooth は電波を使った無線技術のため、下記 の場所では接続しにくくなります。
  - 他の電子機器の付近
  - 放送局や無線機の付近
  - ワイヤレス LAN (IEEE802.11) 使用域
- ●Bluetooth 機器は、電源を入れてから Bluetooth 機能が使えるようになるまでに、時間がかかるこ とがあります。この時差は機器によって異なりま す。
- パソコンをご使用の方は、本機のプリンタードライバーをインストールする前に、パソコンまたはモバイル端末でBluetooth機能が使用できることを確認してください。

#### Bluetooth 通信を確立する

本機とパソコンまたはモバイル端末が Bluetooth で通信するための、基本的な設定の手順を説明します。詳細は Bluetooth デバイスの取扱説明書を参照ください。

Bluetooth 通信を利用するためには、モード表示ランプが青色に点灯している必要があります。

- 1 モード表示ランプが緑色に点灯していることを 確認します。(Bluetooth モード「オフ」)
- 2 電源スイッチを押し続け、モード表示ランプが一旦消灯した後に青色に点滅を始めたら、電源スイッチを離します。 Bluetooth通信オン
  - → モード表示ランプが 青色に点灯します。 (Bluetooth モード 「オン」)
- 3 パソコンまたはモバイル端末でBluetoothを接続 するための画面を開きます。
- **4** Bluetooth を接続するための画面で Bluetooth デ バイスを検索します。
  - →「MM-270\_\*\*\*\*」が検出されます。「\*\*\*\*」はシリアルナン バーの下4桁です。

#### 5 検索された Bluetooth デバイスの一覧から本機 を選択して、接続を確立します。

→ パソコンまたはモバイル端末を本機に初めて接続するときは、「PIN コード」(または「パスワード」、「パスコード」)の入力を要求されます。

Bluetooth デバイスによっては、2 度目以降も接続時に「PIN コード」の入力を要求されることがあります。

6「PIN コード」を入力します。(工場出荷時は、本 機のシリアルナンバーの下 4 桁に設定されてい ます。)

→ Bluetooth を接続するための画面で本機が接続済みとして登録されます。

7パソコン使用時は、Bluetooth 接続ソフトウェア で本機との接続方法として「シリアルポート」を 選択します。



● COM ポート番号が表示されたらメモをとってく ださい。

(パソコンまたはモバイル端末の種類によって は、印刷時に COM ポート番号が必要です。)

●端末からBluetoothでプリンターを検索できない 場合は、プリンターがほかの端末と接続している 可能性があります。

iOS の場合: 接続している端末で Bluetooth を切 断するか、最後に接続した端末情報を本体から削 除してください。(→ p.20 参照)

- iOS 以外の場合:接続している端末で Bluetooth を切断するか、プリンターの電源を入れなおして ください。
- ●プリンターがスリープモードに移行しても Bluetooth 接続を維持します。
- ●プリンターがスリープモード中に、Bluetooth切 断された場合等は、プリンターが一時的にスリー プ状態を解除することがあります。
- ●データ通信中に、端末のスマートカバーを閉じる と、通信できない事があります。
- iPad/iPhone/iPod をご使用の際、プリンターから離れることによって接続が切れてしまった場合は、端末とプリンターを近付けた状態で端末の Bluetooth 設定から接続したいプリンターを選択して接続を行ってください。

■自動再接続機能について

プリンターと Bluetooth 通信を行う為には、Bluetooth 接続が切 れる度に iPad<sup>\*</sup>の設定から「Bluetooth」を選択し、Bluetooth 端末一覧から接続したいプリンターを選択して Bluetooth 接続 状態にしておく必要があります。

Bluetooth 自動再接続機能は、何らかの理由で Bluetooth 接続が 切れた場合に、プリンターが記憶している最後に接続した端末 情報を用いて、最後に接続した iPad\* に対しプリンター側から 自動的に再接続する機能になります。(プリンターの電源が切れ てから入れ直した時や、iPad\* が一度圏外になってから圏内に なった時など)

プリンターは、iPad<sup>\*</sup>と接続中には、他の端末で検索しても見つかりません。

自動再接続機能のオン / オフ切り替えはプリンタードライバー ユーティリティから設定できます。デフォルト設定ではオンに なっています。詳細はサポートサイトにあるソフトウェアユー ザーズガイドを参照ください。

最後に接続した端末情報を本体から削除するには下記の操作を 行ってください。

(端末情報を削除することにより、他の端末から接続しやすくなります。)

- 1. モード表示ランプが青色に点灯していることを確認します。 (Bluetoothモード「オン」)
- 2. 電源スイッチを押し続け、モード表示ランプが一旦消灯した 後に青色に点滅を始めたら、電源スイッチを離します。 →モード表示ランプが緑色に点灯します。(Bluetooth モード 「オフ」)
- 3. 電源スイッチを押して、本体の電源を切ります。
- 4. 電源スイッチを押して、本体の電源を入れます。

5. 電源スイッチを押して、本体の電源を切ります。



6. 電源スイッチを押して、本体の電源を入れます。

- 7. 電源スイッチを押し続け、モード表示ランプが一旦消灯した 後に青色に点滅を始めたら、電源スイッチを離します。
   →モード表示ランプが青色に点灯します。(Bluetooth モード 「オン」)
   この時、最後に接続した Bluetooth 端末には自動的に接続 しません。
- \*は iPad、 iPhone、 iPod などの総称とする。

#### 用紙の準備

本機専用のペーパーカセットを使用してください。他の用紙を 使用すると、給紙不良や、プリンター本体の故障の原因となり ます。

#### ペーパーカセットを用意する

本機にペーパーカセットをセットするための準備をします。 ●ペーパーカセットの準備中に、用紙が落ちないように注意し てください。

 裏側の折り線①に 沿って、フタを しっかりと折り曲げ ます。



()注意 折り曲げが不十分だと用紙が正しく送られません。

2 フタの先を裏側の切り込み口②に差し込みます。



ペーパーカセットの取り扱い

- 〇本機は、セットしたペーパーカセットによって用 紙の種類を識別し、その用紙に最適な設定を自動 的に行っています。用紙を抜いて別のカセットに 入れ替えないでください。
- 〇一度使用したり、ペーパーカセットから出した用
   紙をもう一度ペーパーカセットに戻さないでく
   ださい。
- Oペーパーカセットは紙製です。使用後は、各自治 体の決まりに従って廃棄してください。
- ○故障の原因になるので、やぶれたり、変形したカ セットは使用しないでください。
- ○極端に湿度の高い場所では、ペーパーカセットの 準備をしないでください。動作不良の原因となり ます。
- ○濡れた手でペーパーカセット・用紙に触れないで ください。動作不良の原因となります。
- ○高温多湿、日光、ほこりを避けて保管してください。
- O保管するときは、必ずペーパーカセットのフタを 閉めてください。
- ○炎天下の車内に放置しないでください。
- O変色のおそれがあるので、なるべく早くご使用く ださい。

#### 用紙をセットする

- 1 本機上面のカセットカバー を①の方向にスライドさせ ます。
  - → カセットカバーが②の方向に 開きます。



2ペーパーカセットをセット します。 ペーパーカセットのタイトル (用紙の種類表示用)を上に向 けます。用紙の先端が手前にな るようにします。





- ●用紙の先端が折れ曲がらないよう、揃えてセットします。用紙の先端が折れ曲がったり、不揃いだと、紙詰まりの原因となります。
- ●用紙の交換は、AC アダプターおよび USB ケーブ ルを外してから行ってください。

**3** カセットカバーを③の方向 に閉じます。



4 カセットカバーを④の方向 にスライドさせます。 ペーパーカセットを正しくセット すると、用紙確認窓から用紙の型 番が確認できます。



→ カセットカバーがロックされ ます。



用紙が正しく送られないときは p.31 を参照してください。

#### パソコンで本機を使用する

本機を使用する前に、プリンタードライバー、ラベル作成ソフト ウェアP-touch Editor などのソフトウェアをインストールしてく ださい。

- インストールできるもの
- P-touch Editor
   P-touch Editor 5.2 では、フォント、テンプレート、 クリップアートを使うことによって、複雑なレイアウトの多 種多様なラベルを簡単に作成できます。
- P-touch Update Software
   P-touch Editor を更新する際に使用します。
- ・ プリンター設定ツール
   P-touch Template 設定を行うためのものです。
- プリンタードライバー
   機械から印刷するのに必要なソフトウェアです。
- ・ マニュアル
  - 1 ソフトウェアのインストーラーは、弊社ホーム ページ(install.brother)からダウンロードで きます。
  - 2 ダウンロードした.exe ファイルをダブルクリック し、画面の指示に従ってインストールしてください。 インストールが始まる前に、インストールする項目 を選択するダイアログボックスで、必要なソフト ウェア、マニュアルを選択します。推奨するソフト ウェアやマニュアルは既に選択されています。
  - 3 画面に従ってインストールを進めてください。

#### 排紙する

用紙が詰まった場合は、以下の操作で用紙を取り除いてください。

#### 用紙排紙口から用紙が出ている場合

1 用紙排紙口から用紙を引き抜きます。 用紙送りローラーを清掃し、紙粉を取り除いてください(p.31参照)。



用紙排紙口から用紙が出ていない場合

- **1** カセットカバーを開きます。
- **2** ペーパーカセットを取り 出します。
- 3 詰まっている用紙を引き 抜きます。 用紙送りローラーを清掃 し、紙粉を取り除いてくだ さい (p.31 参照)。



()注意 用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。



用紙を引き抜いても、本機の動作には影響ありません。

#### ペーパーガイドを使う

#### ペーパーガイドを取り付ける \*ペーパーガイド(PG-200)は別売品です。

- 1 本機の用紙確認窓が見える面に合わせて配置します。
- 2 左右に爪がかかるように溝がありますので、場所を合わせて「カチッ」と音がするまで押してください。



#### ペーパーガイドを取り外す

**1** カセットカバーを開きます。

2 一般的なマイナスドライ バーのようなものをペー パーガイドの爪が掛かって いる付近(上下1cmが適切で す)、下記①に当て、片方ず つ外します。



#### お手入れをする

**川**注意

必ず本体の電源を切ってからお手入れをしてくだ さい。

#### 本機を清掃する

本機表面を清掃します。

7 汚れ・ほこりは、やわらかい乾いた布で拭きとります。 汚れがひどいときは、水で濡らして固くしぼった布で拭いてください。



#### センサーを清掃する

センサーが汚れるとペーパーカセットを正しく認識できなくな り、動作不良の原因となります。

1 乾いた綿棒などでセンサーについたゴミを取り 除きます。



#### カセットカバー内部を清掃する

下図の A, B の部分に汚れ、ほこりなどが付着していると、カ セットカバーが開きづらくなることがあります。

カセットカバーを外側へゆっくり開いてはずします。 乾いた綿棒や布などでAの部分を拭いてください。(非 常に細かい擦れかすが溜まっている場合があります)

カバーがはずれる際に大きな音がしますが、故障で はありません。



同様にもう一方も清掃してください。 合わせてBも清掃いただくと効果的です。



清掃後、カセットカバーを戻してください。(白いカセットカバー 受けにカチっと音がするまではめてください) (→ p.33 参照)

用紙送りローラーを清掃する

用紙送りローラーが汚れると、用紙が正しく送られません。

- **1** カセットカバーを開けます。<sup>用紙送りローラ-</sup>
- 2 用紙送りローラーを搬送方向 に止まるまでまわします。
- 3 セロハンテープを用紙送り ローラーのゴム部分全面に貼 り付けます。





- 4 セロハンテープをゆっくりはがし、用紙送りロー ラーを搬送方向と逆方向に3~4mmまわします。 → 用紙送りローラーの汚れが取り除かれます。
- 5 上記 3、4 の作業を用紙送りローラーが止まるところまで繰り返し、ローラー全体の汚れを取り除いてください。

# 5 付録

### こんなときは

#### Q&A

Q:電源が入らな い	A:電源スイッチを、少し長めに押してください。 (→ p.13参照) A:リチウムイオン充電池の容量が残り少ない状 態です。充電してください。(→ p.6参照)
Q:印刷の指示を しても印刷が できない	Bluetooth で通信している場合 A:パソコンまたはモバイル端末の設定で、Bluetooth 通信が有効になっているか確認してください。(お 使いのパソコンまたはモバイル端末の取扱説明書 を参照してください。) A:他のパソコンまたはモバイル端末が USB または Bluetooth で本機と通信中でないことを確認し てください。(→ p. 15 参照) USB で通信している場合 A: 本機とパソコンのUSB ケーブルがきちんと接続 されているか確認してください。 A:他のパソコンまたはモバイル端末が USB または Bluetooth で本機と通信中でないことを確認し てください。(→ p. 15 参照)
Q:用紙が詰まっ た	A:用紙をゆっくり引き抜いてください。(→p.27参 照)
Q:詰まった用紙 を取り除いて もエラーが解 除されない	A:破れた用紙が内部に残っている可能性がありま す。お買い上げの販売店、またはコールセンター にご連絡ください。(「安全にお使いいただくた めに」参照)
Q:ランプが点灯、 または点滅し ている	A:p.9 の「表示ランプと本機の状態」を参照して ください。

Q:カセットカバー がはずれた	<ul> <li>A: 下図の B の部分にある白いカセットカバー受にカチッと音がするまではめてください。</li> <li>「V」字に傾けるとはめやすくなります。</li> </ul>	
	B	
Q:カセットカバー が開きづらい	A: 乾いた綿棒や布などでカセットカバー内部の汚 れ、ほこりなどを取り除いてください。 (→p.30参照)。	

Q:用紙が送られ ない	<ul> <li>A:ペーパーカセット裏側の折り線①をしっかりと 折り曲げてください。(→ p. 22 参照)</li> <li>A:カセットカバーが完全に閉じているか確認して ください。(→ p. 25 参照)</li> <li>A:用紙が汚れている可能性があります。ペーパー カセット裏側の1枚目の用紙を抜いて、再度 セットし直してください。(→ p. 22, p. 24 参照)</li> <li>A:用紙送りローラーを清掃してください。 (→ p. 31 参照)</li> </ul>
	A: 下図(下記)2ヶ所の可動部を、一旦、① から ② の状態にスライドさせます。 そのまま、カバーを閉じてください。(カバー を閉じると、可動部は、①の状態に戻ります。) (※ 長期間利用していない場合、本症状が起こ る場合があります)

#### 製品仕様

#### 本体仕様

	機種名	MW-270
表示		モード表示ランプ 青/緑/赤
		充電表示ランプ オレンジ
方式		ラインサーマルヘッドによるダイレクトサー
	711	マル印刷方式
CD.	解像度	300dpi×300dpi
中	印字速度	約17秒/枚(標準)
子立	中于还反	(弊社基準原稿 感熱紙 印字率 7% 25℃環境)
비미	印字可能	満充電から連続印字約50枚 <sup>*1</sup>
		(Bluetooth スリープモード時を除く)
化发发		(弊社基準用紙 A6 感熱紙 印字率 7% 25 ℃環境)
糸	郃紙方式	ブラザー純正ペーパーカセット、自動給紙機構
用紙		ブラザー純正 A6 カット紙(105mm×148mm)
印刷領域		97.5mm×140.6mm (C-251:93mm×137mm)
電活		リチウムイオン充電池(BT-200:7.4V)、充電用
电你		アダプター、USB
充電時間*2		AC アダプター充電時:約2時間
		USB 充電時 :約 4 時間
インターフェイス		USB Ver. 2.0 (Full Speed)
		Bluetooth Ver. 2. 1+EDR Class2 SPP、 iAP2
寸法		130mm (W) ×210mm (D) ×18.5mm (H)
質量		約 520g(リチウムイオン充電池、ペーパーカセッ
		ト:感熱紙 50 枚入り含む)

- \*1 25 ℃環境下において、満充電状態の新品充電池を使用し、USB 接続でブラザー標準パターン(印字率 7%)を連続印刷した場合 (A6 感熱紙 C-211 を使用)。周辺温度が低い場合には、印刷で きる枚数が少なくなります。
- \*2 同梱の充電用 AC アダプターおよび USB ケーブル (C タイプ)を 使用し、充電池残量なしから満充電になるまでの時間。(本体 の電源はオフの状態)

### 6 よくあるご質問

●充電用 AC アダプターのケーブルを ACアダプター本体に巻き付けたり、 ケーブルを折り曲げたりして移動 するうちに、内部の断線により充電 できなくなりました。



- → 持ち運ばれる時は、結束バンドな どでケーブルを束ね、負荷のかか らないようにしてご利用ください。
- ●USB ケーブルを接続したままの状態で本機を持ち運んでいる うち、USB コネクターが壊れ通信できなくなりました。
  - → 持ち運ぶ際には、ケーブルを抜いてお持ちください。カバンの中であってもコネクターがぶつかると、大きな負荷がかかります。
- ●本機を車内に放置していたら、車内の温度の影響で変形などがおこり、故障しました。また、消耗品も真っ黒になりました。
  - → 車内は想像以上の高温になることがございますので、放置されないようお願いします。
- (・本機は、以下の環境で使用できます。
   ○温度:0 ~ 40 ℃
   ○湿度:20 ~ 80%(最大湿球温度:27 ℃)

- ・以下のような温度0-40℃範囲外、湿度20-80%範囲外・ほこりの多い場所・振動の多い場所では使用、保管しないでください。
   ●車内(特に炎天下の閉めきった車内)
   浴室・給湯器の近くなど水がかかる場所、湿気の多い場所
   ○雨・霧などが直接入りこむ場所
   ○火気・熱機器の近く、強い直射日光が当たるなど高温の場所
   ○結露のあるところ
  - → オプション品としてカーアダプ ターをご用意しておりますが、充 電専用のアダプターとなります。 40 ℃以上に放置されますと、用 紙の変色だけでなく、充電池劣化 の原因にもなりますので、車内に は放置されないようお願いしま す。



- ●印字した文字の上に捺印したところ、インクがなかなか乾か ず擦ると消えてしまいました。
  - → 感熱面への捺印はお勧めしておりません。これは印鑑メー カー各社様でも同様です。実際にお使いいただく場合には、 よく確かめてからご利用ください。インクと同様に、セロハ ンテープ等の粘着剤やペンでも文字が消えることがございま す。

#### ●印刷速度設定の「低速」はどのような場合に選択しますか?

→ WW-260 シリーズ相当の印刷速度を望む場合、または 10 ℃以下環 境下で使用する場合に選択してください。 印刷速度はプリンタードライバーユーティリティで設定できま す。デフォルト設定では「標準」になっています。詳細はサポー トサイトにあるソフトウェアユーザーズガイドを参照ください。

- ●カセットホルダ内に用紙が残っているのに、用紙が送られなくなってしまいました。
  - → 用紙送りローラーに汚れが付着し、それが、用紙のピック アップを阻害しているためと思われます。 用紙送りローラーについた汚れはセロハンテープを使用して 除去してください(p.31参照)。

#### ●リチウムイオン充電池を長持ちさせるためには

- →・リチウムイオン充電池はこまめに充電する事を避け、充電 池を使い切ってから充電されることをお勧めします。※注 意
  - ・40 ℃以上ではリチウムイオン充電池の劣化が進みます。保管の際は、40 ℃以上(炎天下の閉め切った車内など)を避け、直射日光を避けて下さい。
  - ・長期間使用しない場合は、リチウムイオン充電池の性能維持のため、プリンター本体からリチウムイオン充電池を取り外し、冷暗所にて保管して下さい(20℃以下)。ただし、充電池の性能低下を防ぐため、3ヶ月に1度は充電を行い、冷暗所にて保管ください。※注意

(※注意)充電池残量の目安について

バッテリー充電ランプが1回点滅を繰り返す状態になると、 30% 未満の充電状態になります。 ●電源差込口のコネクターが壊れ充電できなくなりました。

→ 電源アダプターまたは USB ケーブルを接続したまま、本 機を持ち運んでいるうち、コ ネクターが破損することあり ます。このような不具合をな くす為には、電源差込口のコ ネクターから電源アダプター または USB ケーブルを抜いてお持ちください。 電源アダプターまたは USB ケーブルを接続した状態で持ち運ばれ ますと、本機に繰り返し力が加えられます。本機側のコネクター に負荷がかかり、コネクターの半田付けが外れ、導通不良となる 場合があります。

精密な機器ですので、電源アダプターまたはUSB ケーブルの抜き 差しにつきましても、充分なご注意をお願い致します。

# ●純正品用紙以外を使用しますと、搬送不良が頻発する可能性があります。

→ 弊社のモバイルプリンターには、ブラザーの提供する純正品用紙 をご使用下さい。他社製の用紙をご使用されますと、場合に よっては、搬送不具合が多発し、清掃しても解決できないことが あります。他社製の用紙に起因する故障の場合には、無償保証期 間内であっても有償修理となりますので、ご注意ください。 尚、全ての用紙で不具合が発生する訳ではありません。

#### ●ペーパーカセットの取扱いにつきまして

→ 弊社のモバイルプリンターは、セットしたペーパーカセットに よって用紙の種類を識別し、その用紙に最適な設定を自動的に 行っています。 用紙を抜いて別のカセットに入れ替えないでください。また一度 使用した用紙、ペーパーカセットから出した用紙につきましては、 再びペーパーカセットに戻さないでください。重送、空送といっ た搬送不良、ヘッドの故障の原因となるおそれがございます。

#### ●万一冷温環境下にプリンターを持ち運んだ場合

→ 0℃を下回る環境では、プリンターは動作しない場合がございます。また、極低温環境(10℃以下)になる場合には、印刷枚数が少なくなります。

プリンターの周辺温度を0℃以上となる場所で印刷をお願いしま す。万一、冷温環境に持ち込んだ場合には、結露を避けるため、 ゆっくりと温度が変わるようにして、少しずつ外気温に近づけて ください。

#### ●感熱紙の保管について

【印字前の保管について】

→ 包装状態(光、ガスを通さない状態)にて、25℃、湿度65%RH 以下の環境下にて保管してください。また、購入後1年以内に使 用してください。

【印字後の保管について】

→ 25 ℃以下の冷暗所(ファイリング状態を含む)にて保管してく ださい。

【保管における注意事項について】

・感熱面および裏面に、次のものを接触させないでください。

- 1) 裏カーボンおよびノーカーボン紙、ジアゾ感光紙
- 2)軟質塩化ビニル製品、ゴムマット、消しゴム等の可塑剤を含むもの
- 3) 接着テープ類、修正液、油性マジック、サインペン
- 4)アルコール、ケトン、エステルおよびエーテル基を有する有 機化合物
- 5) 皮革製品、ハンドクリーム、整髪料、化粧品
  - ・ 雨水、水、汗等液体に漬けないでください。
  - 濡れた手や汗ばんだ手で触れないでください。
  - ・ 感熱面は糊付けしないでください。また、裏面に糊付けする 場合は、でんぷん系、ポバール系または CMC 系等の水性系 糊をご使用ください。
  - ・感熱面及び裏面に捺印をする場合、捺印部分は捺印インキ成 分との化学反応により感熱面白紙部の変色や記録部が褪色し ます。
  - ・感熱面を引っかいたり、摩擦熱を与えたりしないでください。
  - 大切な書類は別にコピーしてお持ちください。

【感熱紙に関する事前注意】

- 印字後短期保存及び印字後長期保存については、あくまでも 情報の提供を主たる目的で作成したものであるため、ブラ ザーは数値・耐用年数等の記載内容を保証するものではあり ません。
- 2.記載の印字性能は、用紙の保管環境や印字面への脂・埃の有 無、印字環境等によって影響を及ぼされる為、製品の購入後 は実際の使用環境において確認後、お客様ご自身の責任にお いて使用してください。
- 3. ブラザーは、記載内容に関連してお客様に生じた損害・逸失利 益等について、一切責任を負いません。

# brother

